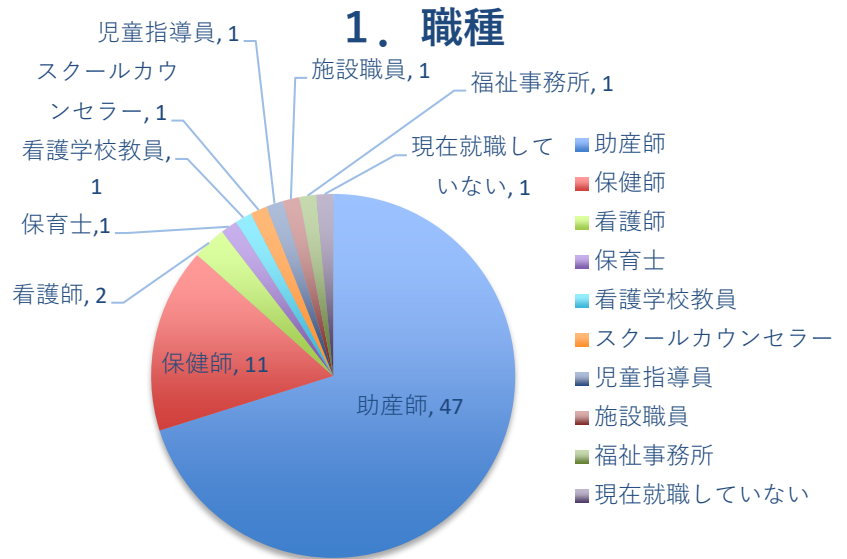


7月21日（金）愛知県助産師会 & 一般社団法人全国妊娠 SOS ネットワーク  
 予期しない妊娠への相談対応研修（パート1：基礎編）  
 ～現場で役立つ知識を学ぶ～ アンケート集計

※総集計数 67

1. 職業

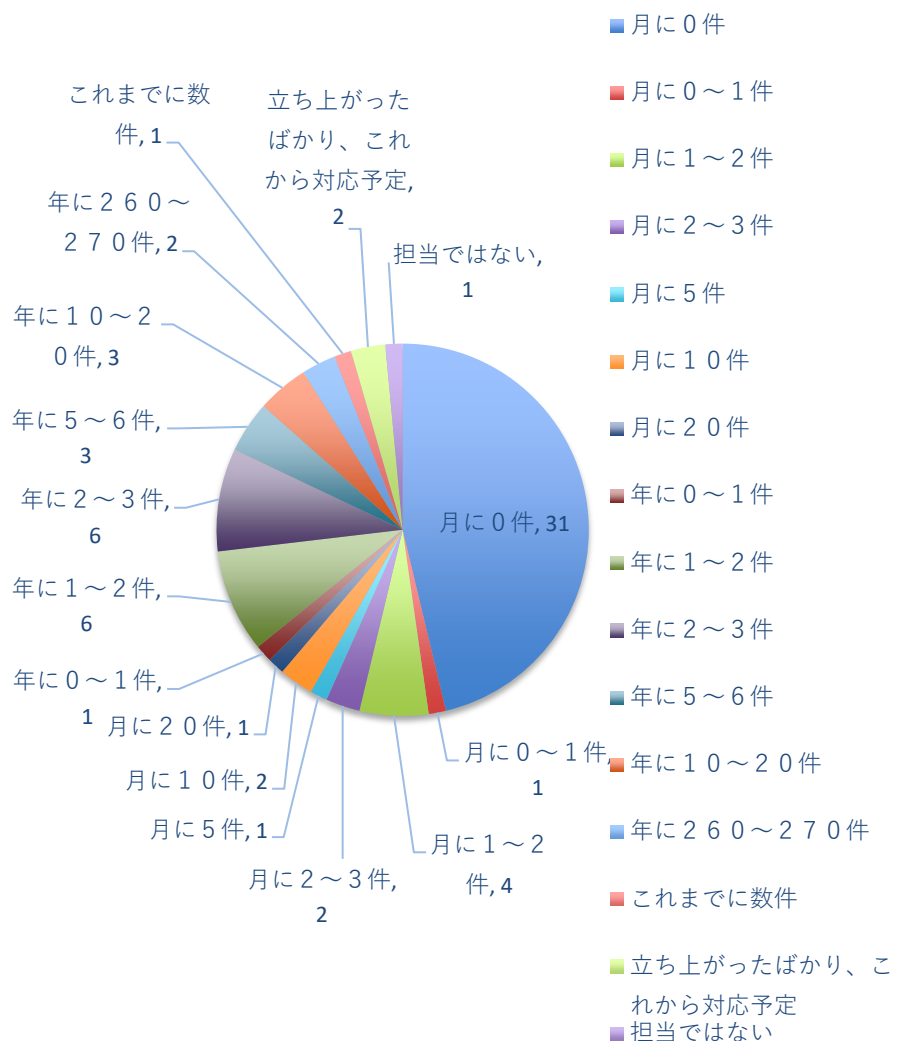
職種	
助産師	47
保健師	11
看護師	2
保育士	1
看護学校教員	1
スクールカウンセラー	1
児童指導員	1
施設職員	1
福祉事務所	1
現在就職していない	1



2. 相談件数

相談件数	
月に0件	31
月に0～1件	1
月に1～2件	4
月に2～3件	2
月に5件	1
月に10件	2
月に20件	1
年に0～1件	1
年に1～2件	6
年に2～3件	6
年に5～6件	3
年に10～20件	3
年に260～270件	2
これまでに数件	1
立ち上がったばかり、これから対応予定	2
担当ではない	1

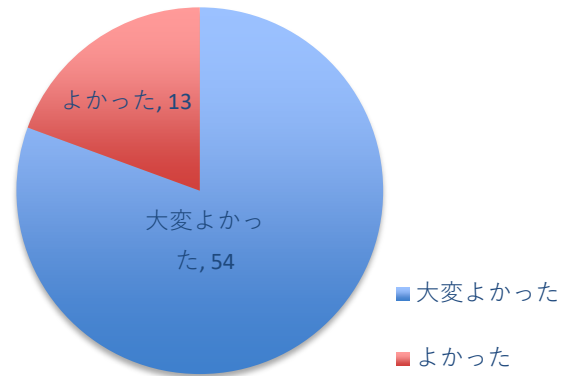
2. 相談件数



### 3. 研修全体について

研修感想	
大変よかった	54
よかった	13

### 3. 研修感想



#### <学びや感想>

- ◇ 具体的な言葉がけ。(2)
- ◇ 具体的な声かけの例。
- ◇ 相談支援への声のかけ方。
- ◇ 予期せぬ妊娠をした方への相談、声かけについて、具体的な声かけを知れて良かった。
- ◇ まず全部を通して、対象者さんへの声かけの例が参考になった。
- ◇ 言うてはいけない言い回し。
- ◇ 対象者の方々にどんな言葉掛けをしてどう関わっていくのか、これからまた身につけないといけないことが明確になった。
- ◇ 予期しない妊娠をした女性に対する接し方や支援の仕方。
- ◇ 今、特定妊婦で関わっている方がいらっしゃるので、今日勉強させて頂き、次回からの声かけやアプローチの仕方を参考にできそう。
- ◇ 予期せぬ妊娠相談者への対応で気をつけなければいけない声かけや支援時の考え方について学ぶことができた。
- ◇ 相談される方へのあるべき声かけや支援姿勢を学んだ。
- ◇ 繋がり続けられる支援を行う為の対象者への関わりのエッセンスを示して下さいありがとうございました。
- ◇ 誰にも言えない事を、勇気を振り絞って助けを求めてくれる方に、心を開いてもらえるように対応をしていくことの難しさ、また、予期せぬ妊娠、という一時的な問題だけではなく、その方の持っている大きな、核となる問題(貧困、家庭不和、依存症など)を捉えていくことが非常に難しいなと感じた。
- ◇ 産んだ方のこれからの人生も考える。当たり前だけどハッとさせられた。
- ◇ 女性の生涯を視野に入れた支援。
- ◇ 地域母子保健に従事し始めたばかりなので、母子手帳交付時など個別性重視した対応や言葉がけをしていきたいと思った。ありがとうございます。
- ◇ 具体的な関わりが学べた。

- ◇ 改めて相談対応について。
- ◇ 取り組む姿勢。
- ◇ 妊娠相談を受けるにあたってのベースを再認識できた。
- ◇ 予期せぬ妊娠について相談にのることの注意点など聞けてよかった。
- ◇ ドイツの例を含めた、相談対応について。
- ◇ 相談への対応方法。
- ◇ 妊娠 SOS の事例対応。
- ◇ 予期しない妊娠をした女性への質の高い相談対応について学べた。
- ◇ SOS を出す女性の対応について学びを深めることができた。病院で取り組めることをしていきたいと思う。
- ◇ 妊娠している方との関わり方を学ぶことができた。
- ◇ 女性に対する態度、寄り添いの大切さ。
- ◇ 悩んだ末にやっと相談に辿り着いているその思いによりそう事が大事。
- ◇ ファーストコンタクトの対応の大切さ、相談してくれたことをまず支持すること、妊婦の背景を考える必要さを感じた。母子手帳を日々交付しているが、中には問題を抱えた妊婦さんがいる。その方を、これから一緒にサポートさせてもらおう、といった気持ちを忘れずに対応していきたいと思った。
- ◇ 支援者の声かけひとつで、その後の流れが大きく変わることを意識して、普段の相談、業務でも言葉ひとつから気をつけていきたいと思った。
- ◇ 一人で生むことの阻止であったり、連絡を切らさないための方法であったり、書ききれないほど勉強になった。
- ◇ 特別養子縁組を選択した女性に関しての対応に困難さを感じたところもあったので聞けてよかった。
- ◇ 若年者への対応として日頃から相談しやすい環境づくりと身近でサポートする人の存在が大切である。
- ◇ つなげることの大切さ。
- ◇ 役割をもっと考えたい。
- ◇ 困っている状況にある女性へ、適切な情報提供ができるよう、勉強していきたい。
- ◇ 法令改正の情報が知れた。
- ◇ 今後かわる法律。
- ◇ 法律が学べた。
- ◇ 法律。
- ◇ 法律に関して知識が疎い自覚があったが、詳しく講義で聞いて、学び直す必要性を感じた。
- ◇ 福祉分野の法律と絡めての具体的な支援のあり方、手続きの仕方を示して頂き大変学びになった。
- ◇ 制度と法律。
- ◇ 制度。
- ◇ 制度について知れたこと。

- ◇ 制度が変わったこと。
- ◇ とても噛み砕いてくださったのですが制度の話は難しかったのでまた帰って読み返したいと思う。
- ◇ 制度について、勉強不足を感じた。
- ◇ 生活保護受給までの手順。
- ◇ 生活に困っている方への支援、生活保護の申請について。
- ◇ 様々な現状がわかった。
- ◇ 風俗がセーフティネットになっている現状。男性の性の幼稚さからくる女性が被害者となる世の中をどうにか女性が手を取り合って助けあっていきたい。
- ◇ 予期しない妊娠の現状について理解が深まった。
- ◇ 愛知県の現状。
- ◇ あいち方式があっても愛知県は低かったことに驚いた。
- ◇ 予期しない妊娠をした女性の思いなどに触れることができた。
- ◇ 相談ができない背景がよくわかった。
- ◇ 予期しない妊娠に悩む相談者の背景や匿名の相談者が支援に繋がる流れ、具体的な支援方法や支援先などについて学ぶことができた。
- ◇ 特別養子縁組。(2)
- ◇ 特別養子縁組について。(3)
- ◇ 特別養子縁組の仕組み。
- ◇ 特養について学べた。
- ◇ 養子縁組について少しわかった。
- ◇ 特別養子縁組の話について、これから制度が変わることについてどのようになるか。
- ◇ 特別養子縁組の仕組みや実際を学べたことはとても参考になった。
- ◇ 特別養子縁組への関わり方について。
- ◇ 特別養子縁組について 対応など。
- ◇ 養子に対する対応。0日でなくなる子どもを減らしたいと思った。
- ◇ 児相と民間の特別養子縁組の違いについて理解が深まった。
- ◇ 里親、養子縁組をした後の実親さんとの継続的な関わりと、中絶よりも産むことで、女性の人生が好転できるという希望的なお話を聞いて、大変勉強になった。
- ◇ 特別養子縁組についても含めて、日本の狭い考えから、少し自分自身も、考え方、気持ちがかわった、世界が広がった気持ち。
- ◇ 福祉のところは日々変化してゆくので、アンテナを張って更新して行く必要があると感じた。
- ◇ 福祉に関して知識が疎い自覚があったが、詳しく講義で聞いて、学び直す必要性を感じた。
- ◇ 福祉分野について、勉強不足を感じた。
- ◇ 福祉制度について。
- ◇ 福祉関係。
- ◇ 福祉。

- ◇ 育てられない女性と子供の福祉。
- ◇ 利用できるサービス支援を知り、繋がっておくこと。
- ◇ 地域の社会資源について、学べた。
- ◇ 性教育の必要性。
- ◇ 今までは「知識不足から望まない妊娠」をしてしまう面から包括的性教育をすすめることを励んでいたが。今回、貧困との深い関係を学んだ。圧倒的に負担が大きい(弱い)女性の立場を改めて感じた。と共に、若年女性にと言われているが、やっぱり妊娠するには男性がいなくては成り立たないわけで、男性への性教育の必要性をすごくすごく感じた!!妊娠させても痛くも痒くもない?男性へどんな問いかけをすると踏みとどまるのか、、、ここも課題に性教育活動をしていきたい!そして、対象を知るための学びを惜しまない。性教育をするうえでも届けたい対象者に対してまだまだ私達の方からやれることがたくさんあることをガツン言われた気持ち!本当にありがとうございました。明日も楽しみにしている。
- ◇ 多方面の学びができた。
- ◇ 行政の対応について改善できるとよいと感じることがたくさんあった。
- ◇ 具体的な対応例を交えて話して下さったので、どの項目も分かりやすかった。
- ◇ 去年の復習になった。
- ◇ 知識として整理することができた。
- ◇ 弱者の社会問題 に向き合う時間が持ててよかった。
- ◇ どんな形の妊娠であっても、否定することなくどこまでも伴走者である意識に感動。
- ◇ 愛知県助産師会の皆様のチームでの働きの実際に感銘を受けた。チームとして個々の強みを生かしながら、支え合いながらの組織の強みを知ることが出来たことも学びになった。
- ◇ 取り組みの歴史や実際の支援のお話を聞いて、支援への熱意が伝わってきた。未来ある子供たちのためにも、女性の幸せのためにも、多くの人を仲間にして、安心して出産、子育てできる環境をつくる事が大切だと思った。
- ◇ 情報がわかりやすくまとまっていて、最新情報で現実を知ることができた。この機関が“無かったら、無くなったら”を考えると怖くなった。と同時に1つ1つの事例に真摯に向き合うエネルギーに対して、対象者からのフィードバック(支援を求められていない感、信頼されていない感)がない現実(それほどまでに余裕がない?)を考えると、厳しい世界だなあ。と。社会で支援する。いくつも機関で時間と労力をかけて、母子2つの命救う大変さ感じました(連鎖を考えるとそれ以上の命)。
- ◇ 今後妊娠 SOS の活動に関わりたいと考えているので活動内容等が参考になった。
- ◇ 佐藤先生のファンで今日もお話しが聴けて嬉しかった。
- ◇ 最近、読んだ本で、waka という著者が、ナンパ塾という講座や、YouTube をしていて、50.60代のもてない男が20代の美女だけをターゲットにナンパして一夜もしくは、セックスフレンドにする方法を詳しく書いている。この手のナンパ塾がかなりあるらしく、性的同意が16才のようですが、心理学を駆使して、女性を巧みに引っ掛からせるテクニックを伝授していて、20代ならまだ見抜けないだろうと思うので、

悔しいし、幼稚なおっさん大人がいることが、情けない。社会全体の学校教育と、経済第一主義の歪みの犠牲になっている、女性。私も行動していく。

◇ 貴重な機会をありがとうございました。

#### 4. 実際に思いがけない妊娠をした女性と関わるときに、最も困難または不安と感じることは何ですか？

- ◇ アプローチの仕方がやはり不安かなと、改めて実感した。
- ◇ コントクトを取ることに。
- ◇ 言葉のかけ方。
- ◇ 適切な言葉がけができるか。
- ◇ 自分がなんと声がけができるのか。
- ◇ 自分自身の言動。
- ◇ 言葉の使い方。避けるような会話も不自然だし、不用意なことも言うてしまうのではないかという不安がある。
- ◇ 寄り添いたい、傾聴、共有したいと思って関わっていても、言葉の選択を間違えそうで、言葉を選び過ぎてより失敗しそうな不安がある。
- ◇ 傷つける言葉を使ってないか、間違ってる情報を伝えていないか。
- ◇ 女性の心を傷付けてしまわないか(二次被害)が不安だと思った。
- ◇ 傷つけていないか。
- ◇ メールや電話などで、その後もつながっていけるような文面、話をしていくこと。
- ◇ どのように声をかけるのか？本人の本当の思いが聞けるのかが、困難を感じる。
- ◇ 働いていた時は、自分の対応(声掛け)適切か自信がなかった。知識不足、勉強不足、そもそも勉強の方法がわからなかった。
- ◇ 女性がどのように妊娠を受容してゆけるのか、抱える課題解決にどこまで寄り添えるのかと、自分の力量に不安を感じてしまう。
- ◇ 思いをお聞きすること。
- ◇ 私は今は産科で働いておらず、頻繁に関わることはない。友人や職場の人から相談を受けた時、相手の事情を知れば知るほど、言葉に詰まることがあります。自分の価値観や感情と切り離して接せないことがある。支援者としては冷静になれず良くないのだと思っている。
- ◇ 相談対応。
- ◇ 支援のあり方。
- ◇ 事例を通して、本人の意思決定できる関わり方について。
- ◇ 中絶施設に対する質問があった場合の対応方法。
- ◇ 行政支援。
- ◇ 居所不明となりそうな事例 問題は一つではなく、幾つも重なっている事がほとんどである。
- ◇ 初回の面談時に支援拒否を招いてないか、相談者に次も相談したいと思ってもらえ

たのか、など自分の対応が適切だったか毎回迷う。

- ◇ 連絡が途切れてしまったらどうしようか、という不安がある。
- ◇ 突然 連絡が途絶えたらと思うと心配になるだろうなと思う。
- ◇ 繋がりを続けること、ボランティアになってしまうこと。
- ◇ 母子ともに安全な支援に繋がれるだろうか。
- ◇ 1人で抱え込んでしまわないか。話をしてくれるかどうか。関わりをつなげていけるかどうか。
- ◇ 信頼関係を築けるか、知らないうちに傷つけていないか。
- ◇ 支援につながるまでの関係を築くのにはいつも苦労している。話しにくいことを話してもらえそうな語りかけ方のヒントがいただけたのはとても勉強になった。
- ◇ 少しずつしか情報が得られず、関係構築する事が難しい。
- ◇ 話をして情報収集すること。
- ◇ 質問が優先になってしまって、なかなか本心を聞き出せないように感じ、不安がある。
- ◇ 本人の背景や意志を（援助のために）聞き出すこと。
- ◇ 本人の意思の確認。本音を話せる環境を整えられるか。
- ◇ どこまで、本音で話してくれているのか。
- ◇ 本人の本当の気持ちを聞き取る時の、本音はどこにあるのかとを感じる時。
- ◇ 意思決定支援、本人との関わり方。
- ◇ 相談を受けた時点で意思決定がされており、そのことに関する、必要なことだけの情報を聞かれた時。どこまで伝えるか。それを覆すような情報提供までもすべきかどうか。どこまで介入していいか悩む。
- ◇ 関係がきれてしまうこと。
- ◇ 支援が途切れてしまわないか、自分の言葉遣いに非常に気を遣う。どこまで押して、引いてをするのがケースによって異なるので困難だと感じる。
- ◇ 生まれた後、産婦人科を一ヶ月検診以降受診のきっかけがなくなった後、行政に繋がったかどうか分からないことが多い。母子連絡票は提出するが、フィードバックが来ないことも多く、繋ぐはできてもその後サポートできているのか？は不安になる。
- ◇ メール、電話のみの対応で、その後どうなったか、あれでよかったのか、、、。
- ◇ 自分が部署移動となりその後が分からないこと。これで良かったのか？支援する側のメンタルフォローもあるのか？
- ◇ 自分がインテークに関わってもその後他の支援者に繋がると、その後が見えなくなる不安。
- ◇ 産む方の未来。
- ◇ 支援の影響。
- ◇ 次の妊娠出産へのサポート。
- ◇ 女性が最良の選択ができているか。
- ◇ 妊婦自身が自分の希望する方法がわかっていないように見える時。判断を助ける支

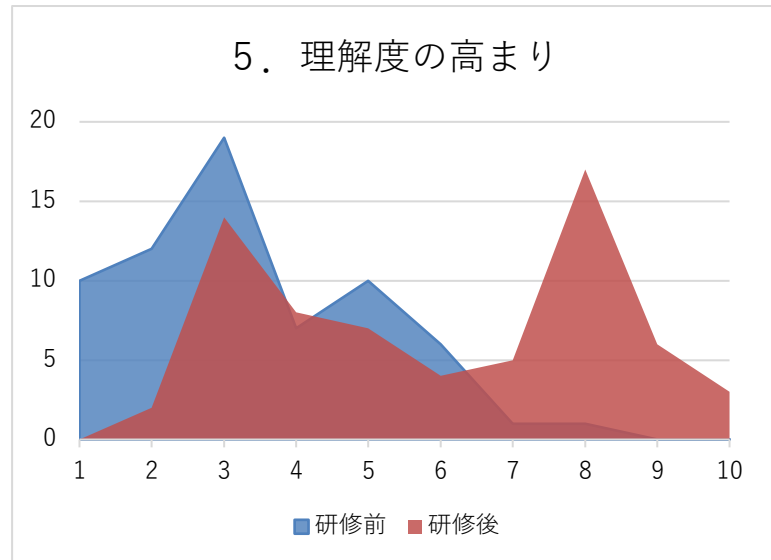
援ができていないか不安。

- ◇ 妊娠された方が、自分の望むことをしっかり理解されているかゆれないか心配する。
- ◇ 答えが出るまで支え続けること。出した答えに応じた後（中絶後）に、後悔されてしまったこと。その後ネガティブになってしまった姿を見たとき、どこまで支援するのか。
- ◇ たくさんの選択肢を与えられないのではないか。
- ◇ 負の連鎖にならない社会資源の活用・納得の選択ができる情報提供をできるかどうか。
- ◇ 福祉の知識。
- ◇ 多職種で対応したいと思っても、温度差を感じる事がある。
- ◇ 他機関連携。
- ◇ 切れ目なく、だけど何処に繋げて良いのか分からなかったこと。
- ◇ 若年層の妊娠対応。
- ◇ 現場が学校なので、本人が語ってくれるようになるまでに時間がかかる。在学中には問題を取り扱えないこともあり、非常に歯がゆい。
- ◇ 未成年で妊娠の受け入れができていない妊婦で、家庭環境が複雑であったりして支援者が少ないとき。
- ◇ 親や支援者がいない人への経済的な支援の面。
- ◇ 経済的問題。
- ◇ 貧困の改善が難しい。
- ◇ 時間が短い。
- ◇ 限られた時間の中で適切な情報収集と情報提供をすること。
- ◇ 継続的な支援。病院勤務では権利上、その方が受診をされない限り、支援（といっても話を聞くくらいかと思いますが）ができず、そういった方はやはり、受診をしなくなったりするし、その方そのものの支援をしていけたら、とは思うが、やはり現状、知識や経験がなく、適切で現実的な支援をしてあげられないこと。
- ◇ 病院でも関わる時間が確保しづらい。
- ◇ こういう時に行くといい産婦人科を聞かれるが、オススメしたところでいい印象を受けなかったと言われた時困り、申し訳なくなる（紹介してもらった人は親身になってくれたけど、たまたま当たったスタッフさんが、、とか）。
- ◇ 現所属では担当ではないため受けていない。
- ◇ 対応したことなし。
- ◇ 今後頑張ります。



## 5. 理解度

	研修前	研修後
1	10	0
2	12	2
3	19	14
4	7	8
5	10	7
6	6	4
7	1	5
8	1	17
9	0	6
10	0	3
無回答	1	1



## 6. 今後全妊ネットの活動に期待すること

- ◇ 具体的なアドバイスが聞けて参考になった。
- ◇ 発達障害者の妊娠と支援について知りたい。
- ◇ 相談員として活動されている方々の相談員としての歩みについて、更に詳しくお話し聴ける機会があれば良いと思った。
- ◇ より具体的な制度に関する講習があれば受けたいと思った。
- ◇ 愛知県の社会資源の現状と活用の仕方の研修をお願いします。
- ◇ 定期的な講習。
- ◇ このような会を定期開催していただくこと。
- ◇ 定期的な事例検討会。病院勤務で、分娩件数が多い訳ではないですが、相手に逃げられてしまった女性の受診もあり、どう対応すれば良いか難しく思う事があった。今後も色々なケースを共有して勉強させていただきたい。
- ◇ 病院向け勉強会の実施。
- ◇ 症例とその対応についてお聞きしながら、経験知を増やせたらと思う。
- ◇ これからもどんどん研修を行って行って欲しい。
- ◇ 今後もこのような研修活動、是非継続お願い出来たらと思う。
- ◇ この研修をずっと続けて欲しいことと、全妊ネットさんについていきたい、モチベーションがより上がった！
- ◇ 行政機関（保健センターや福祉課等）を対象とした研修。
- ◇ もっと勉強したい。よろしくお願い致します。
- ◇ 専門職だけではなく、一般向けにもぜひこの活動を周知していただきたい。
- ◇ もう少しホームページがわかりやすいといいのかなと思う。Instagram 等も、若者がもう少しメッセージを送りやすいような作りにされるといいのかな、と思った。専門職の私ですら少しホームページに壁を感じた。
- ◇ 今回の研修はインスタグラムで知った。広報活動をしてネットワークを広げること。

- ◇ 地域の子育て支援拠点で働くスタッフも様々な背景のある親子がいることを知ってもらいたい。
- ◇ 多くの助産師に情報提供をしていただきたい。
- ◇ ご講義の中で言われていた、「初潮を迎えたら婦人科受診をする」をぜひ一般的なものできるようにしていただければと思う。
- ◇ 命を授けた人と授かった人が自分らしい人生を歩んでいけるよう支援が続けられること。
- ◇ 支援によって母子共に生きやすくなるような活動を期待する。
- ◇ 法令や行政隙間でどうにもならない妊婦が少なくなる事。
- ◇ 期待する事が多く、どのように書けばいいか悩む。令和 6 年度から、様々な制度が名前とともに内容も変わることがあるとのことだが、0 日死亡の新生児が全国で減ることが 1 番ではないか。
- ◇ 出産後の母の支援。
- ◇ 日本のどこにいても、困っている妊婦さんが相談できること。
- ◇ 性教育の講師育成の会の開催。
- ◇ 教育関係者への理解も促してもらいたい。
- ◇ 包括的性教育の必要性を強く感じているので、学校現場へのご協力よろしく願います。
- ◇ 性風俗(貧困層)への包括的性教育、こんな時にはこんなことを利用できるよ!の支援の情報提供。
- ◇ 男女を問わず、十分な知識の普及。
- ◇ 新しいデータで教えていただきありがとうございます。皆の社会問題として考える人が増えたらいいと思った。
- ◇ 費用のこと。
- ◇ 財源が厳しいと思いますが、どうにかあいち妊娠 SOS が継続できるよう願っている。
- ◇ 愛知助産師の今後の方向。
- ◇ 存続!!
- ◇ 普段から医療と福祉のパイプ作り。
- ◇ 性風俗とのパイプ(そこからも見放される人がいる?)。
- ◇ 本日の講義の中で、具体的な声掛けがいくつか出て参り、同じことを伝えるにも、言い方一つで全然印象が変わることを改めて実感した。相談業務における、カウンセリングガイドライン(事例を通した、相談員さんが行っている具体的な言葉かけを集めた本や冊子)の様なものを作って頂けたらありがたく思った。
- ◇ 全国の SOS の伴走支援をこれからもお願いいたします。
- ◇ 今後とも伴走支援よろしく願います。
- ◇ 今後ともご支援よろしく願います!
- ◇ これからも活動が発展されることを願っている。
- ◇ 大変勉強になった。内容を復習して、自分の中で落とし込んでいきたい。
- ◇ 大変有意義な研修だった。今後の活動に活かしていきたいと思う。ありがとうございました。

- ◇ これからも女性の力になりたい。
- ◇ 活躍していきたいと思った。
- ◇ いずれ何らかで活動したいと思えた。
- ◇ 非常に興味を持った。私に何ができるのか明日の研修も受講しながら考えていきたい。
- ◇ 母子生活支援施設の現状として単身妊婦の利用はできない。しかし国は補助事業としての枠組みをつくってくれている。母子生活支援施設として切れ目のない支援の一役を担えればと思っている。みなさんからの現場の声も教えていただき引き続き国県へ単身妊婦の受け入れができるように要望していく。
- ◇ 本日は貴重な大変充実した研修、本当にありがとうございました。